

科目名	歴史	科目コード 014
-----	----	--------------

学年・学科等名	2 学年	全クラス	必修科目
単位数・開講期	2 単位	通年	
総時間数	60 時間		
担当教員	平野 友彦		

本校の教育目標	1	一般人文科の教育目標	3
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	
	教育プログラムの学習・教育目標	
	JABEE基準	

教科書名	『日本史A 現代からの歴史』(東京書籍)
補助教材	図版、プリント等
参考書	

A. 教育目標

国際社会の中の日本という視点から、主に幕末以降の歴史を扱い、日本の現代社会の成り立ちや今日の国際社会における日本の位置を理解することを目標とする。また、日本文化の特質や日本における地域社会の特質についても理解できるようにする。

B. 概要

教科書とプリント等を使用しながら授業を進めていく。授業の内容は近・現代を中心に扱い、北海道史や沖縄の歴史についても触れる。歴史の流れとともに、その背景についても分かり易く説明する。

C. 学習上の留意点

記憶するだけでなく、歴史事象の必然性を理解し、世界的視野から日本を見る目を養い、自ら調べるといった習慣を身につけること。試験は主にノートから出題するので、ノートはしっかり取ること。レポート課題はよく調べ、参考文献を明記して提出すること。

D. 評価方法

試験(90%)、レポート課題等(10%)

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容
はじめに		
(1)オリエンテーション	1	
(2)日本の歴史環境の特質	5	日本史の大きな流れとその特質が理解できる。
1.国際環境の変化と明治維新		幕藩体制の解体を促した、世界の近代化の動向について知ることができる。
(1)19世紀世界の動向	8	
(前期中間試験)	1	
(2)鎖国と開国	8	江戸幕府の対外政策の特質を知るとともに、幕藩体制
(3)倒幕	4	の解体と国際社会との関わりを理解することができる。
(4)北海道と沖縄の歴史	3	北海道、沖縄の歴史を知ることができる。
(前期末試験)		
2.現代世界と日本	10	太平洋戦争末期の日本及び世界の状況について理解
(1)敗戦の経過と原爆の投下	4	できる。
<後期中間試験>	1	
(2)日本国憲法制定の経過	8	日本国憲法制定時の諸状況について理解できる。
(3)日本の戦後史概説	7	戦後から現在までの国内状況と国際社会の大きな動向について理解できる。
(学年末試験)		

F. 関連科目

社会、地理、歴史(世界史)、史学、法学、経済学、政治学